



田畑家の弁天島別荘跡（浜名郡舞阪町弁天島）

明治の中頃になると、海水浴が病気の治療に効果があるとされ注目を集めた。明治22年(1889)に東海道鉄道が全通すると、浜松の資産家たちは弁天島に別荘をもつようになり、田畑家も弁天橋のたもとに別荘を造った。政治は小学校へ行く前から、この別荘で夏と冬の休みを過ごしていたため、目の前の浜名湖で小さい時から自然に泳ぎを覚え、水泳に高い関心を持つようになった。政治の水泳の原点は、当時、水泳訓練が非常に盛んであった浜名湖の弁天島に所在した別荘にあったといっても過言ではない。



弁天島での水泳大会



弁天橋から弁天島を眺望